

第144回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成20年11月13日(木) 11:00~12:30

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 8人  
出席委員数 7人

出席委員の氏名 森内 律子  
青木 敬信  
片岡 真理  
片山 貴之  
古磯 勝子  
島田 恭子  
早川 富美子

欠席委員の氏名 須賀 英之

放送事業者側出席者 高松 征雄 代表取締役社長  
原田 宏 取締役放送部長  
佐藤 望 放送部長代理  
佐藤 由紀子 放送部

4 議題 番組の試聴及び意見交換

5 議題の概要 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) その他  
(3) 次回(12月)の開催日程について

6 議事の内容

(1) 番組の試聴及び意見交換

毎週月曜日から金曜日の7:30~10:49に放送している自社制作の朝のワイド番組『B-UP!』についての試聴と意見交換を行った。

事業者側：朝のワイド番組『B-UP!』は、弊社の看板番組として高い聴取率をいただいていたが、伝えるべきニュースや情報が増えたほか、各種コーナーも立て込むなど、構成の余裕の無さを以前から感じていた。そこで、10月の番組改編を機に、より一層地に密着した話題を提供し、リクエスト曲を増やすなどして、ゆったり聞けるエフエム局らしい内容にするため、放送時間を約1時間延長した。  
それでは、11月4日(火)に放送した番組の一部として、延長した10時台の放送をお聞き下さい。なお、月曜日と火曜日は鹿島田千帆アナウンサーが担当している。

委員： とっても良い番組。今回聞いたダイジェストは大きく分けて3つの構成になっていた。1つ目は、季節感あふれる栃木の話(マラソン)が自然と耳に入り、栃木が陸上王国だということを知った。高橋尚子さんの話題から始まり、リスナーのメールも取り入れながらマラソンについて話していたが、その話の運びが自然でありスムーズで感心した。

2つ目は、医師をスタジオに招き話を聞く「教えてドクター」というコーナー。身近な話で聞き入ったが、お医者さんと鹿島田さんとの声量のバランスが少し聞きづらかった。お医者さんとの話の後に曲が入り、その後、話の内容を鹿島田さんがまとめる形で振り返っていたのが良かった。これなら、たとえ途中から番組を聞いたとしても情報が耳に入る。3つ目のゲストゾーンは、それまでと全く雰囲気が変わることで全体的なメリハリが出ていた。聞いていてためになり、栃木への愛着も持てる、とても良い番組だ。

委員：基本的に、話す内容はアナウンサーが考えているのか？

事業者側：アナウンサーだけではなく、ディレクターの意見も含めて中身は決めている。

委員：とても良い番組だと感じた。10時台の冒頭部分で各地の気温を追っていく所があった。ただ気温を読めば無味乾燥になってしまうが、鹿島田アナウンサーは、気温を読み上げるだけではなく、地域への思い入れが感じられるような内容だった。聞き飽きず、単調にならないのは素晴らしく、“伝える力”を感じた。お医者さんに話を聞くコーナーは私もついつい話の内容に聞き入ってしまったが、最後に鹿島田さんが話をまとめたことで内容が理解しやすかった。話す人によって“伝える力”は違うだろうが、鹿島田アナウンサーはさすがで、お上手だなと思った。

委員：番組はすごく良いが、聞いていて癒されすぎてしまった。「これからやるぞ！」という朝の番組のテイストとしては落ち着き過ぎなのかもしれない。

委員：落ち着いた感じで話の入り口は良かったが、1つのテーマについての話が長いのではないかと。聞き入ってはいたが、朝なのでもっとテンポアップしても良いだろう。10時台の後半部分はテンポアップしていたが、前半部分と違いすぎた。それから、ゲストコーナーでは、相手の本音を引き出すためなのだろうが、笑い声など鹿島田アナウンサーのにぎやかさが気になった。番組の構成自体は、栃木らしさを取り入れ魅力的で、放送時間が延長したことは良かったなと感じる。今後も楽しみだ。

委員：鹿島田さんのキャラクターというのか、しゃべり声の質は癒し系なのだろう。ただ、聞いていて眠くなってしまったのは確かで、癒し系すぎるのかもしれない。声の雰囲気については良い所もあるが、場面で考えなければならない所もあるのではないかと。とはいえ、話の内容は興味があり、今後も主婦や母の立場から共感できる話題が出せるだろう。

委員：番組を約1時間拡大したということは、リスナーから支持されているからこそのことだと感じる。スタッフの努力の賜物だ。10時台は、通勤時間帯とは違うリスナーがターゲットになっている、ということだが、栃木の魅力を伝えることが地元のFM局としての立場だと思うので、間延びせず、情報をさらに充実させて放送してほしい。まったくした雰囲気は個人的には嫌いではない。それはそれでパーソナリティの魅力なのではないか。

事業者側：以前の10時台の番組は、個性的でパワフルなパーソナリティが担当していたため、今回内容がガラッと変わったことに対してリスナーの反応が気になっている。水・木は20代の井出アナウンサーが番組を担当している。20代と40代の女性が2曜日ごとに担当していることで同じ番組構成の中では差が出てしまうが、そのギャップは毎日聞いているリスナーにとってはどうなのか？

委員 : 一週間でどういう流れになるのか、井出さんの担当曜日の放送も聞いてみたい。  
確かに癒し系だが、話の内容はちゃんと耳に入ってくるので、やはり鹿島田さんはお上手  
なのだと思う。ただ、少しリラックスしすぎかな?という印象はあった。

事業者側 : 鹿島田アナウンサーの声質は“クール”ではなく“ウェット”なのだと思う。

委員 : 曜日によって番組の色が変わるのは良いと思う。毎日聞く人も飽きずに聞けるのではないか。  
聞く人の好みもあり、違う感じのパーソナリティが並ぶのは悪いことではない。

委員 : 好みの問題といえば、マラソンの話はあそこまで長くならずにはズバツと言って欲しかった。

委員 : 色々な情報を組み立て、その流れがあるからこそ、説得力があるのだと私は思う。

委員 : 色々なアプローチの方法があるので、ぜひミックスしてみて欲しい。

委員 : 番組の企画会議はどのようにやっているのか?

事業者側 : 企画会議は、月～金のトータルなことについて1カ月に1回開いている。

委員 : 鹿島田さんには“伝える力”と“取材する力”がある。  
延長した部分は、楽しみで期待できる時間帯になっている。

## (2) その他

特になし

## (3) 次回(12月)の開催日程について

次回の開催を12月11日(木)にすることについて、全員の了解を得た。

## 7 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

## 8 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

a) 放送 : 11月30日(日)午後7時55分の「レディオベリー インフォメーション」内

b) 書面 : 本社事務所に備え置き

c) インターネット : エフエム栃木ホームページ内

## 9 その他の参考事項

なし